

平成24年度一般会計補正予算案と28議案が可決・同意！

長崎市議会・平成24年6月定例会は6月7日（木）に開会し、6月22日（金）に最終本会議が開催され、平成24年度一般会計補正予算案（約5億1,000万円）と28議案が可決・同意し閉会しました。
補正予算案には、2月の異常低温で被害を受けたビワ農家の支援費やコンベンション施設の整備調査費などが含まれています。
定例議会最終日に議長・副議長より辞職願が提出され、正副議長選の結果第51代議長に板坂博之氏（明政・自由クラブ）、第57代副議長に鶴田誠二氏（市民クラブ）が就任しました。

主な補正予算

- ◆地域コミュニティ推進費：660万円
地域課題の解決のため、概ね小学校区を単位として地域の複数の団体が連携して実施する地域コミュニティの活性化につながる取り組みに対して、助成又は物品を配布する。
〔対象〕 取り組みの主体となる地縁系の団体
〔限度額〕 1小学校区を基本として30万円（補助金又は物品）
〔事業期間〕 平成24～26年度
- ◆地域活動推進費補助金：450万円
財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、地域の活動を活性化させるための経費に対して助成する。
・丸善団地親交自治会：250万円
（イベント用アルミステージの購入）
・片峰獅子保存会：200万円
（獅子舞用具、大太鼓の購入）
- ◆サントス市姉妹都市提携40周年記念事業費……………1,090万円
ブラジル・サントス市姉妹都市提携40周年記念事業の一環として、サッカーの長崎市選抜チーム（中学3年生）を派遣し、交流試合等を実施することにより親善交流を深める。
〔日程〕 8月26日（日）～9月2日（日）
〔派遣団〕 長崎市選抜チーム 中学3年生15人ほか 計20人
- ◆長崎びわ生産・品質向上緊急対策費補助金……………1,755万3千円
長崎びわのブランド信用力向上とびわ産地の維持に資するため、寒害による被害農業者が購入する病害虫防除・品質向上資材について市独自に助成する。
◆安全・安心住まいづくり支援費……………1,050万円
木造戸建住宅の耐震改修工事に対して長崎県が新たに補助制度を設けたことから、長崎市が行う補助に県補助金を上乗せして支援する。
・今回補正分 30万円/件 ×35件

「長崎～上海航路」就航に伴う上海視察報告



上海港のロビーにて

5月17日（木）～20日（日）に実施された、「長崎～上海航路」就航に伴う上海視察団の一員として参加してきまし

乗務員は教育が徹底されていて好感が持てましたが、5月末より2カ月かけて船内改装を実施予定であり、上海旅行社は料金が高いとのイメージがある。佐賀空港～上海便の格安航空に多くのお客さんが利用するのはないか心配であり、料金に見合う船内の時間の過ごし方などについて改善しなければならぬと思いました。
今回の視察を通じて課題などを理解出来ましたので、議会人として行政と知恵を出し合いながら、長崎～上海航路の運航が成功できるように努力して行きたいと思いをしました。



長崎市のPRパンフレットを配布

視察団は、田上市長・中村議長以下20人の市会議員や市・県職員、観光宣伝隊や浜の町商店街の役員など総勢48名でありました。
現地で旅行社との意見交換や上海市旅遊局表敬があり、参加されていた旅行社から長崎の印象についての報告や長崎市に対して、今後は市民にPRした方がよいのではないかと意見も出されました。
その後、上海航路および長崎市観光プロモーション活動として上海市内の街頭にて、アトラクション出演者（ちんどん屋・かわち屋）（太鼓・西方小天狗）（日本舞踊・藤間流藤栄会）の皆さんと合流してPR活動を行いました。長崎市のPRパンフレット配りを行いました。
運航時間26時間の乗船で感じた事は、

ご相談はお気軽に！

長崎市女の都1丁目1444-13
自 宅 ☎(844)9599
生活相談室 ☎(861)1985

k.itsuwa

やさしい街づくり！元気な長崎！



長崎市議会議員

だより 41号 いわ清隆

平成24年8月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：中山 好文 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



暑さ厳しい候、皆さまにおかれましては益々ご健勝にて、ご活躍の事とお喜び申し上げます。

本会議にて一般質問を行いました

去る、6月12日に定例本会議にてトップバッターで一般質問を行いました。

質問項目は①行財政改革の推進、②東日本大震災のガレキ受け入れの対応、③教育行政の3項目について市長および関係部長と質疑を行いました。【詳細はP2・3を参照下さい】
行財政改革プランは平成23年度から27年度の5年間に取り組む実施項目が84項目ありますが、特に平成26・27年度は市長任期の最終年度であることから前倒しに取り組むべきであるとの思いから3点について質問を行いました。

東日本大震災のガレキ受け入れについては、4月1日の議会で放射線量の測定と焼却灰の埋め立て処理は国の責任において安全性の確保を整えることを前提に、通常の廃棄物と判断されるガレキは受け入れに前向きな対応を求め、決議を賛成多数で可決しました。

今日まで長崎市も職員は義援金カンパ等の協力を行って

いますが、長崎市は30年前の昭和57年7月23日の長崎大水害では、全国各地の皆さんから支援を頂き早期復旧・復興したことを私も含め忘れてはならないと思います。長崎市として被災地の早期復旧の手助けとして出来ることは、ガレキ受け入れであることを質疑しました。市長よりガレキ受け入れ表明はありませんでした。焼却施設や埋め立て処理場で作業実験など行うとの回答がありました。私は真の絆は、色々な課題があっても全国民が被災地の当事者の立場になって早期復興して普段通りの生活に戻ることであることを再認識して取り組みを行ってまいります。
教育行政については、学校選択制の見直し後の課題、余裕教室の実態把握と有効活用について質疑を行いました。当日は小雨が降る中、多くの皆さんに傍聴いただき、本当にありがとうございました。
長崎市の現状は急速な少子高齢化の進行、人口減少、地場産業の低迷などで長崎市を取り巻く環境は依然として厳しい状況ではありますが、私は今後市民の皆さんへ長崎市の将来像を訴えながら「安全で安心して生活できる環境作り」に向けて諸活動を積極的に行っていく決意です。
皆様方にはさらなるご指導・ご支援をよろしくお願致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

6月12日 一般質問を行う

①行財政改革の推進 ②東日本大震災のガレキ受け入れの前向きな対応 ③教育行政

平成24年6月議会。「一般質問要旨」(抜粋)

1.「行財政改革の推進」について

質問 自治基本条例制定について

【答弁】自治基本条例の制定は、制定過程が重要であり条例の理念、目的を議論した上で作業を進め、市民の皆さまからの意見・提案を頂きながら、他都市にない長崎市オリジナルを平成26年度の制定を目的として取り組みを進めます。

質問 もみじ谷葬斎場の今後のあり方の検討について

【答弁】もみじ谷葬斎場は、昭和53年12月に全面建て替え以来、約33年が経過し老朽化を踏まえ、待合室の増設・改修、駐車場の整備や電気集塵機などの改修工事を行ってきたが、



建て替えが計画されている「もみじ谷葬斎場」

火葬炉や待合室、拾骨室等は施設の不足や狭隘さなど不便な面が多く、高齢化社会の進展に伴い、将来見込まれる火葬需要への対応などの需要課題を抱えていますので、建て替え計画の検討を本年度から着手して平成26年度中に建て替え計画を策定します。

2.「東日本大震災のガレキ受け入れ」の前向きな対応について

質問 長崎市より国に対して質問が出されていた項目に、

国から4月27日に回答されているが何の問題で、ガレキの受け入れに支障となっているのか。

【答弁】災害廃棄物の焼却後の焼却灰について、環境省は「埋め立て処分は従来の方法で問題はない」との見解を示しているが、焼却灰の中でも飛灰と呼ばれるパウダー状の灰には、放射性セシウムが濃縮され、水に溶け出しやすいことが問題と考えています。

質問 5月16日に開催された「スクラムミーティング」での

になると見込まれているため、概算費用を算出し国に対して補助金交付の可否について確認を必要とすることから、現時点で完了時期の提示は困難です。

再質問 長崎市民の多くは、ガレキ受け入れに対して賛成すると思うが、長崎市のリーダーとして、焼却試験の実施表明はしないのか。

【再答弁】ガレキ受け入れのためには、「安全の確保」が第一であると考えている。

焼却試験にあたっては、焼却施設や埋立処分場の地元の皆さんの理解が不可欠であり、焼却施設や埋立処分場での作業実験や開発者の聞き取りなどから、安全性の確保と作業の安全性が確保できると判断されたら、まずは、地元の皆様

様に十分な説明をさせていただき、ご理解を得た上で焼却試験の表明を行っていききたい。



自席からの再質問

3. 教育行政について

①学校選択制の見直し後の課題

質問 平成17年度から実施されてきた学校選択制の課題解決策として今年度入学者から見直しがされたことは評価していますが、見直し前と見直し後の申し立てにより隣接校へ通っている児童・生徒の人数と理由および制度の見直し後、申し立てにより隣接校へ

【要望】東日本大震災から既に1年3ヶ月が経過したが、被災地は震災ガレキが障害となつて復興が進まない状況である、特に長崎市は30年前の昭和57年7月23日の長崎大水害では、全国各地の皆さんからの支援を頂き早期復興したことを、私も含め長崎市民は忘れてはなりません。

だからこそ、長崎市として被災地の早期復興を手助け出来る事が、ガレキの受け入れではないでしょうか、長崎市民への「安全性の説明」「風評被害」など解決しなければならぬ課題もあるが、早急に「ガレキ受け入れ」が表明できるように対策を講じられたい。

②余裕教室の実態把握と有効活用

質問 長崎市の小・中学生の児童・生徒数は昭和45年度と平成22年度を比較すると半数以下の人数となっているが、平成21年に全国で余裕教室の実態調査がなされ、長崎市は

通うことで自宅から通学距離が遠くなった児童・生徒数など、見直し後の課題について。

【答弁】学校選択制利用者数は、平成23年度は小学生293名、中学生324名で合計617名でした、見直し後の平成24年度は小学生168名、中学生198名で合計366名と見直し後は減少しています。

自宅から通学距離が遠くなった児童生徒数の割合は、23年度は小学生61・4%、中学生64・5%で平成24年度は小学生56・5%、中学生48・5%と減少しています、次年度以降も徐々に解消していくと考えています。

制度の見直し後の課題は、経過措置である「兄・姉と同じ学校だから」などの理由から遠距離通学の事例がありますが、登下校時の安全性には十分留意したいと考えます。

活用

長崎市の小・中学生の児童・生徒数は昭和45年度と平成22年度を比較すると半数以下の人数となっているが、平成21年に全国で余裕教室の実態調査がなされ、長崎市は

県知事からの提案および5月31日の北九州市で開催された検討会を傍聴後、長崎市はどのように検討されているのか。

【答弁】県から、焼却灰を埋め立てる処分場の安全対策として、新たな埋め立て方式が提案されています。北九州市の検討会では飛灰からの放射性セシウムの流出防止対策として特殊な盛土を使用した埋め立て方式を採用する予定です。

長崎市は埋め立て方式により懸念する問題点の検討と、東西工場や三京クリーンランドにおける安全対策と作業効率および埋め立て途中の豪雨対策等について検討しています。

質問 市長は2月議会の同僚議員の質問で議会の議決があれば、その内容を重く受け止めて判断することになると答弁されているが、議会議決から2カ月が経過していますが、市長は4月1日での議会議決をどのように受け止めているのか。

【答弁】議会決議を重く受け止めるという点は全く変わっていません、安全性を整えることが第一で、長崎県の提案と北九州市が採用予定を参考に

回答で余裕教室はないと報告されていますが、学校数は増えて、児童・生徒は大きく減少しながら、どのような調査を行い余裕教室がないと報告しているのか。

【答弁】余裕教室とは、文部科学省において「将来とも恒久的に余裕となる」と見込まれる「普通教室」と定義されており、児童生徒の減少に伴って使用しない普通教室であっても、何らかの活用が図られている場合は、余裕教室には該当しないこととなっています、長崎市は普通教室の確保を最優先として取り組んできた結果、教材室や教育相談室、更衣室などといった教室の整備がなされていなかったため、それに転用しています。

さらに、学校での活用以外にも、PTA室や放課後児童



小学校の敷地内に設置された学童クラブ



山積されているガレキの山

しながら「どのようでしたら埋め立て処分場の浸出水の問題を解決し、安全かつ効率的に作業ができるか」について現場での実験を行い、その結果を踏まえて、結論を導き出したい。

再質問 長崎県提案や埋め立て方式について現場での実験も行いながら結論を導いていくとの答弁であったが、いつ頃を目途に結論を出すのか。

【再答弁】検討のためには現場での実験に加え、北九州市方式については耐久性や安全性等について開発者の聞き取りや採用事例の確認が必要になります。

いずれの方式を実施する場合も、現在の埋め立て作業に比べて非常に多額の人件費、材料費、重機借上費等が必要

クラブへも転用を行う等、有効活用に努めており余裕教室はないと報告しています。

【要望】放課後児童クラブは、平成24年度は総数93クラブの内、17クラブが小学校の余裕教室を利用し、23クラブが学校敷地内に専用施設として活用されているが、放課後児童クラブの運営団体にに対し、放課後児童健全育成事業費補助金を交付しており、平成22年度決算額では総数83クラブに対して、約4億2,000万円の補助金を交付している。

このうち、民間の建物を借りて家賃を支払っている運営団体への補助は、17クラブで約1,700万円となっているが、長崎市の厳しい財政状況の中で余裕教室をもっと、有効活用することにより家賃補助が削減できると思うので、教育委員会が余裕教室の実態調査を行って頂きたい。

更に、長崎市内の自治会では自前の公民館を持たない自治会もあるので、学校周辺の自治会に対して余裕教室の開放を検討願いたい。